



# ぐるっとマップ No.223 過去の雪崩に学ぶ 保存版

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

今年は春の訪れが早く、2月のうちから暖かい日が続きましたね。春先は雪崩が起きやすい季節です。今回のマップでは、過去に雪崩が起きた場所や雪崩の予防について紹介します。

● 過去に雪崩被害のあった場所 ◆ 雪崩防止施設等

雪崩は1~2月が多いですが、全体の件数の4分の1は3~5月に発生しています。発生場所から2kmも離れた麓の集落にまで崩れた雪が到達し被害が出た例もあります。また最近の異常気象・温暖化により、思わぬ時期に雪崩が発生することもあります。どうかご注意ください。県では雪崩防止施設をつくって雪崩の発生を予防しており、おかげで近年雪崩の被害はかなり減っています。



里見雪崩防止柵



月岡雪崩防止柵



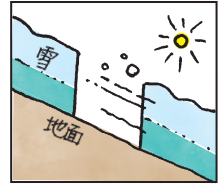
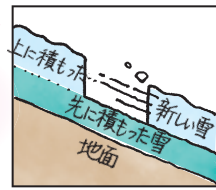
黒菱雪崩防止柵



沢渡雪崩防止柵

## 雪崩の種類

**表層雪崩**  
先に積もった雪の上へ新しくたくさん雪が積もったとき、上に積もった新しい雪が崩れ落ちる。スピードがとても速く、新幹線と同じくらいの速さ。気温が低くて雪が降り続いている真冬の時期に起こりやすい。

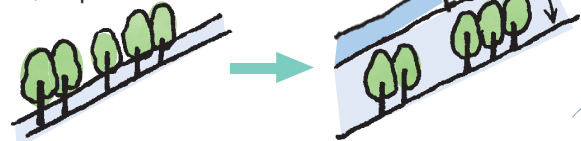


**全層雪崩**  
古い雪も新しい雪も一緒に、地面を削りながら崩れ落ちる。天気が良く気温が上がった日や、雨が降った時などに雪が溶けることによる。自動車と同じくらいの速さ。春先に注意が必要。

## 雪崩の前兆

### 表層雪崩の場合

木や草が埋もれるほどの積雪



### 全層雪崩の場合

雪の割れ目



雪割れ(雪の表面に、ふやけた指先のようなしわ状の模様)

※このマップは長野県姫川砂防事務所(0261-82-3100)に情報をいただいて作成しました。



1.白池 文政7(1824)年12月17日  
すたせいら 白池で宿が押し潰され、死者15名

2.李平 文政元(1818)年12月31日(現在の1月中旬)  
人家6戸壊滅、死者7名

文政7(1824)年12月17日  
地蔵平一帯の雪で落ち、人家12戸壊滅、死者27名。  
昭和20年2月22日 全層雪崩 死者1名

3.島 昭和9年1月4日 表層雪崩、死者2名

4.大平 昭和7年2月 底層雪崩、死者6名

5.光明 昭和20年12月19日  
表層雪崩 人家1戸全壊 死者1名

6.池原文政8(1825)年12月14日 死者4名

7.白馬コルナスキー場  
平成17年12月31日 雪崩発生 負傷1名

8.伊折・柳瀬・雨中  
天保12(1841)年1月 雪崩あり

9.月岡 昭和16年3月  
小学校校舎一部損壊 人家1戸壊滅

10.柵池高原  
平成2年2月11日 雪泥流(スラッシュ流)により死者2名  
平成26年2月3日 表層雪崩  
スキー客7名巻き込まれ、死者2名 軽傷2名

11.源太郎 昭和55年12月29日 1月5日にかけて豪雪  
雪崩が水源施設と別荘を襲う 家屋の損傷相次ぐ

12.沢渡 享保4(1719)年12月20日(現在の1月中旬)  
沢渡村大雪崩 人家6戸壊滅 死者18名

13.佐野 寛政元(1789)年12月23日(現在の1月中旬)  
神城西山から大雪崩 人家10戸壊滅 死者26名

平成29年2月23日  
中谷川左岸(県道川尻小谷糸魚川線の真木洞門対岸)で発生した雪崩は中谷川を埋め尽くし、近くの吊り橋を大きく変形させました。



このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介まいります。ぐるっとネットワーク大町事務局:TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、2019年3月8日付の大系タイムスに掲載されました。  
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。  
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。